

第十六回 貴族院議事速記録第十九號

明治三十五年三月三日(月曜日)

午前十時十一分開議

議事日程 第十九號 明治三十五年三月三日

午前十時開議

第一 軍人恩給法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第三 臺灣ニ在勤スル巡查看守退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第五 海軍造船材料資金會計法案(政府提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第七 明治二十九年法律第六十三號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第九 粗製樟腦、樟腦油專賣法案(政府提出) 第一讀會

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十一 海底電信線保護萬國聯合條約罰則法律案(政府提出) 第一讀會

第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十三 明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 會 議

第十五 明治三十三年度豫備金支出ノ件外四件承諾ヲ求ムルノ件(政府提出) 會 議

第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十七 地租ヲ課セサル土地ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十九 會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第二十一 沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第二十二 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第二十三 國勢調査ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第二十五 明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法別表中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第二十七 會計法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第二十九 民法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第三十 市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第三十一 東京都制案(伯爵清樓家君外三名提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第三十二 千代田縣設置ニ關スル法律案(伯爵清樓家君外三名提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第三十三 東京都千代田縣組合法案(伯爵清樓家君外三名提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

○副議長(侯爵黑田長成君) 議長ハ差支ガゴザイマスカラ本員本席ヲ保チマス、報告ヲ致サセマス

(小原書記官朗讀)

去ル二月二十八日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

臺灣官設鐵道用品資金會計法案

衆議院議員選舉人名簿ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ修正可決シタル左ノ本院提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

市會町村會議員ノ選舉人等級ニ關スル法律案

郡費分賦ノ件ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

地租ヲ課セサル土地ニ關スル法律案

會計法中改正法律案

同日左ノ衆議院提出案ヲ受領セリ

會計法中改正法律案

農工銀行法中改正法律案(二案)

日本勸業銀行法中改正法律案

印紙稅法中改正法律案

同日本院ニ於テ可決シタル舞鶴線鐵道速成ニ關スル請願外二十三件ハ即日政府ニ送付セリ

各特別委員會ニ於テ當選シタル委員長副委員長ノ氏名左ノ如シ

國有土地森林原野下戻申請期間ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵吉井 幸藏君 副委員長 子爵鍋島 直彬君

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵長岡 護美君 副委員長 子爵新莊 直陳君

官國幣社國庫支辨ニ關スル法律案外一件特別委員會

委員長 伯爵清棲 家教君 副委員長 子爵仙石 政固君

商業會議所法案特別委員會

委員長 伯爵坊城 俊章君 副委員長 子爵青山 幸宜君

國稅徵收法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵正親町 實正君 副委員長 磯邊 包義君

○伯爵正親町實正君 是ヨリ國稅徵收法中改正法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 宜シウゴザイマス

○三浦安君 權限裁判法案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 宜シウゴザイマス

○伯爵廣澤金次郎君 未成年者飲酒禁止法案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 宜シウゴザイマス、本日ノ日程ニ移リマス、軍人恩給法中改正法律案、政府提出、第一讀會、本日ハ議案ノ朗讀ハ省略致シマス

(左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス以下同シ)

軍人恩給法中改正法律案

右 勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十五年二月二十六日

內閣總理大臣子爵桂 太郎
海軍大臣 山本權兵衛
陸軍大臣男爵兒玉源太郎

軍人恩給法中左ノ通改正ス

第二十七條 軍人左ノ各號ノ一ニ當リタルトキハ其寡婦ハ扶助料ヲ受クルノ權利アルモノトス

一 戰死シ又ハ戰鬪ニ因ル負傷ノ爲メ死歿シタルトキ

二 公務ノ爲メ傷痕ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ又ハ戰地ニ於テ若クハ公務旅行中流行病ニ罹リ死歿シタルトキ

三 退職恩給若クハ免除恩給ヲ受ケ又ハ之ヲ受ケヘキ權利ヲ有シテ死歿シタルトキ

第二十八條 寡婦扶助料ノ年額ハ前條第一號ニ當リタルトキハ第五號表甲號、第二號ニ當リタルトキハ第五號表乙號、第三號ニ當リタルトキハ第五號表丙號ニ依ル

第五號表及第六號表ヲ左表ノ如ク改ム

第五號 寡婦孤兒扶助料表

官等	將官及相當官		佐尉官及相當官		准士官		下士官		卒	
	高	等	高	等	高	等	高	等	高	等
甲號	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等
乙號	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等
丙號	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等	親任一等二二三等四等五等六等七等八等	一等二二三等四等五等六等七等八等

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條第一號ノ事由ニ基ツキ本法施行ノ際現ニ扶助料ヲ受ケ又ハ受ケヘキ權利ヲ有スル者ハ本法施行ノ日ヨリ本法規定ノ金額ヲ受クルコトヲ得

前項ニ依リ本法規定ノ金額ヲ受ケムトスル者ハ本法施行ノ日ヨリ三箇年以内

ニ請求ヲ爲スコトヲ要ス

(國務大臣男爵兒玉源太郎君演壇ニ登ル)

○國務大臣(男爵兒玉源太郎君) 諸君茲ニ提出ニナリマシタ陸海軍人ノ恩給法改正案デゴザイマス、是ハ主トシテ戰死致シマシタ者ノ遺族ノ扶助料ヲ増額シタイト云フ主意デゴザイマス、現在ノ恩給法ニ於キマシテハ戰死致シマシタ者ト公務ノタメニ死亡致シマシタ者ト同様ノ扶助料額ヲ受ケルコトニナツテ居リマス、デ此度ハ更ニ戰死致シマシタ者ノ遺族扶助料ト云フ一ノ……一段ヲ設ケマシテ之ニ對シテノ扶助料額ヲ増加シヤウト云フコトデゴザイマス、併テ今日現制ノ金額ニ依ツテ扶助ヲ受ケテ居リマスル者モ此改正案ガ成立チマシタ曉ニハ矢張此新法案ノ恩給額ヲ給與スルコトニ致シタイト云フ案デゴザイマス、デ諸君既ニ御承知ノコト、考ヘマスガ、實際今日ノ場合ハ戰死者ノ寡婦孤兒デ扶助料トシテハ今日與ヘテアル金額ハ餘リ少キニ失スルト云フ考ヲ有ツテ居ルデゴザイマス、ドウゾ御審査ノ上、御賛成ヲ希望致シマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 特別委員ノ選舉ニ移リマス、議長指名デ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 臺灣ニ在勤スル巡查看守退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

臺灣ニ在勤スル巡查看守退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十五年二月二十五日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨

第一條 臺灣ニ在勤スル巡查看守ニシテ二箇年以上引續キ在職シタル者ニハ巡查看守退隱料及遺族扶助料法ノ勤續年數計算ニ於テ其ノ在職一箇月

ニ對シ半箇月ヲ加算ス但シ從軍年ノ加算アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ加算ハ臺灣ニ到著シタル日ニ始マル

第二條 臺灣ニ在勤スル巡查看守ニシテ二箇年以上引續キ在職シタル者臺灣ニ於テ風土病又ハ流行病ニ罹リタルトキハ退隱料給與上職務ノ爲疾病ニ罹リタルモノト看做ス

第三條 臺灣ニ在勤スル巡查看守ニシテ臺灣ニ於テ風土病又ハ流行病ニ罹リタルトキハ遺族扶助料給與上職務ノ爲疾病ニ罹リタルモノト看做ス

第四條 前條ノ風土病及流行病ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

第五條 本法ノ規定ハ本法施行ノ際現ニ臺灣ニ在勤スル者ニ關シテハ本法施行前ヨリノ在職年月數ニモ之ヲ適用ス

附則

本法ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(政府委員森田茂吉君演壇ニ登ル)

○政府委員(森田茂吉君) 本案提出ノ理由ヲ簡短ニ申述ベマス、昨年議會ノ協賛ヲ經マシテ發布ナリマシタ所ノ内地ニ於ケル巡查看守退隱料及遺族扶助料ト申シマスル法律ハ臺灣ニモ昨年七月カラ行レルコトニナリマシタ、即チ巡查看守ノ退隱料及遺族扶助料ト云フモノハ内地臺灣同様ノ法律デ支配シテ居リマスルノデアリマス、而シテ一般ノ文官ニ於キマシテハ臺灣及内地ハ同様ノ法律デ支配セラレテ居リマスル外ニ臺灣ニ在勤スル官吏ノ恩給及遺族扶助料ト申シマスルモノガ特別ニ制定セラレマシテ、彼ノ地ニ於キマスル所ノ風土及氣候其他惡疾ナドノ關係ニ就キマシテ特典ヲ一般ノ官吏ニハ與ヘテアリマスル、然ルニ巡查看守ニ於キマシテハ特別ナル特例ヲ設ケテアリマセヌノハ今日ノ狀態デアリマスルノデ、臺灣ニ於キマスル巡査ハ御承知ノ通一般普通警察事務ニ從事シマスル外ニ瘴癘ナル惡疫ト戰ヒ或ハ生蕃土匪ト矛ヲ交フルヤウナコトガアリマスルノデ、是等ノ職務ニ對シマシテモ普通一般官吏ト同様ノ特典ヲ設ケテ其職ニ精勵ナラシムルヲ必要ト認メマシテ、本案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 特別委員ノ選舉ニ移リマス、議長指名デ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 海軍造船材料資金會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

海軍造船材料資金會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十五年二月二十六日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨

海軍造船材料資金會計法

第一條 海軍造船事業ノ需要ニ應スル爲材料貯蓄ノ資本トシテ海軍造船材料資金ヲ置キ特別ノ會計ヲ立テシム

第二條 海軍造船材料資金ハ既定ノ鎮守府造船材料資金二百七十八萬圓ヲ以テ之ニ充テ毎年第六條ノ過剩金ニ相當スル金額ヲ加ヘ漸次増加シテ六百五十萬圓トス

第三條 海軍造船材料資金會計ニ屬スル造船材料ヲ使用スルトキハ海軍省所管經費ヲ以テ之ヲ購入スヘシ此ノ場合ニ於テハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第四條 海軍造船材料資金ヲ以テ貯蓄シタル材料ノ損減ハ豫メ歩合ヲ定メテ材料原價ニ加算スヘシ

第五條 造船事業ニ使用シタル材料ノ殘材、殘屑、艦船取外シ物品及廢船舟ニシテ造船材料トシテ使用シ得ヘキモノハ海軍造船材料資金會計ノ材料ニ組入ルコトヲ得

第六條 每會計年度ニ於テ海軍造船材料資金特別會計ノ決算上該資金額ニ過剩ヲ生スルトキハ其ノ過剩金ヲ同年度一般ノ歲入ニ編入スヘシ

第七條 政府ハ毎年海軍造船材料資金特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト俱ニ帝國議會ニ提出スヘシ

第八條 海軍造船材料資金ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ明治三十五年度ヨリ之ヲ施行ス

鎮守府造船材料資金會計法ハ明治三十四年度限り之ヲ廢止ス

(政府委員村上敬次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(村上敬次郎君) 本案提出ノ理由ヲ申述ベマス、本案ハ現行ノ鎮守府ノ造船材料資金會計法ニ代ルモノデアリマスルガ、現行法ニ於キマシテハ造船材料ハ單リ鎮守府ニ限ラレテ居リマスガ、鎮守府以外ニモ使用スル必要ガアリマスカラ、此度ハ海軍造船材料資金會計法ト改メタイト思フノデアリマス、而シテ其内容ニ於キマシテ改正ヲ必要トスル理由ハ理由書ニモゴザイマス通、舞鶴ノ鎮守府ガ新設セラレ、又一面ニハ軍艦水雷艇補充基金特別會計法ノ制定ト共ニ將來内地ニ於テ造船事業ノ發達ヲ要シマスルカラ、從テ造船材料ノ貯蓄ノ増額ヲ要シマスルカラ、其資金ノ増加ヲ要シマス次第デゴザイマス、而シテ其増額ハ普通歲入ニ仰ガズシテ決算上ノ過剩額ヲ以テ充實スル經畫デゴザイマスカラ、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 此委員ノ選舉モ議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黑田長成君) 明治二十九年法律第六十三號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

明治二十九年法律第六十三號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十五年二月二十六日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨

明治二十九年法律第六十三號中左ノ通改正ス

第六條 本法ハ明治三十八年三月三十一日迄其ノ效力ヲ有ス

(政府委員後藤新平君演壇ニ登ル)

○政府委員(後藤新平君) 本案ハ明治二十九年ニ發布セラレタモノデアリマスルガ、其後一回三箇年ノ延期ヲ致シマシタガ、既ニ其期モ將ニ盡キントスル時ニナツテ居リマス、併ナガラ臺灣ノ事情ハ明治二十九年ニ法律六十三號ヲ發布セラレマシテ必要ト認メマシタ時ノ事情ハ今尙ホ存シテ居リマスノデゴザイマス、ソレ故ニ尙ホ此儘繼續ヲ必要ト認メマシテ提出致シマシタ

○子爵曾我祐準君 チヨット政府委員ガ此處ニ御出ニナツタラバ序ニ伺ヒマスガ、本案ニ附キマシテ衆議院ノ速記録ヲ讀ンデ見マスト、衆議院ノ議員ノ質問ニ對シテ政府委員ハ「富鐵ノ經畫ハ致シテ居リマス、マダ詮議中デアリマシテ其事ハ確定シマセヌ」斯様ナ答ガアツテ、政府ニ於テハ臺灣ニ富鐵實行ノ經畫ヲシテ居ル、併ナガラ詮議ハマダ濟マナイノデアアル、詮議中デアアル、其事ハ確定セヌ、斯ノ如キ御答ガアリマスガ、本案ト關係スルコトヤ否ヤハ本員ニ於テモ分リマセヌケレドモ、本案審査中ニ斯ノ如キ答ガアリマスノヲ見マスレバ、本案ガ若モ通過シマスト富鐵施行ノ如キモ矢張此法律デ……法令デ出ル譯ニナリマスカ、御尋致シマス

○政府委員(後藤新平君) 御答ヲ致シマスガ、此審査ノ經過ニ依リマスルガ、本案ニ依ッテ實行スルヤウナコトノ出來ルコトニナリマセウカ、或ハ別ニ法律案トシテ協賛ヲ得ルコトニナリマセウカ、其事ハマダ極ッテ居リマセヌノデアリマス、併シ總督府ノ考ヘマス所デハ臺灣ニ限ッテ實行致スコトデアレバ本法ノ範圍内デ實行シタイト云フ考ハ持ッテ居リマス、併シマダ此審査ノ經

過中デアリマスカラ、法律案トシテ提出スルノ必要ヲ認ムルヤ否ヤハ今申上
グ兼ネマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 此特別委員モ議長指名デ御異議ハゴザイマセヌ
カ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 粗製樟腦、樟腦油專賣法案、政府提出、衆議院送
付、第一讀會

粗製樟腦、樟腦油專賣法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

明治三十五年二月二十七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨

粗製樟腦、樟腦油專賣法

第一條 政府ハ粗製樟腦、樟腦油ノ專賣權ヲ有ス

第二條 粗製樟腦、樟腦油ヲ製造スル者ハ總テ其ノ粗製樟腦、樟腦油ヲ政
府ニ納付スヘシ納付ノ期限ハ政府之ヲ指定ス

第三條 政府ハ收納シタル粗製樟腦、樟腦油ニ對シ賠償金ヲ交付ス賠償金
ハ政府之ヲ定メ豫メ公示スヘシ

第四條 政府ヨリ賣渡シタル粗製樟腦、樟腦油ニ非サレハ所有、所持、讓
渡、質入若ハ消費シ外國ニ輸出シ又ハ内地臺灣間ノ輸送ヲ爲スコトヲ得

ス但シ納付期限前又ハ正當ノ事由ニ因リ納付ヲ遲延シタル場合ニ於テ所
有、所持スルハ此ノ限ニ在ラス

第五條 樟腦、樟腦油ハ政府指定以外ノ港灣ヨリ之ヲ外國ニ輸出シ又ハ内
地臺灣間ノ輸送ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 粗製樟腦、樟腦油ヲ製造セムトスル者又ハ政府ヨリ賣渡ヲ受ケタ
ル粗製樟腦ヲ精製セムトスル者ハ政府ノ許可ヲ受クヘシ
粗製樟腦ノ精製業ハ粗製樟腦、樟腦油ノ製造業ト相兼ヌルコトヲ得ス
政府ハ樟腦、樟腦油ノ需要供給ノ情況ニ依リ粗製樟腦、樟腦油ノ製造高
ヲ制限スルコトヲ得

第七條 粗製樟腦、樟腦油ノ製造ノ許可ヲ受ケタル者本法又ハ本法ニ基ッ

キテ發スル命令ニ違背シ、豫定ノ期間内ニ事業ニ著手セス又ハ豫定ノ條
件ヲ履行セサルトキハ政府ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

蕃地ノ狀況ニシテ公安上必要アリト認ムルトキハ政府ハ粗製樟腦、樟腦
油ノ製造ヲ停止シ又ハ製造ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第八條 當該官吏ハ樟腦、樟腦油ノ製造場、貯藏場其ノ他樟腦、樟腦油ノ所
在ト認ムル場所ニ立入り検査ヲ爲シ其ノ他取締上必要ノ處分ヲ爲スコト
ヲ得其ノ運搬中ニ係ルモノニ付亦同シ

第九條 樟腦、樟腦油ノ製造ノ許可、收納及賣渡ノ事務ハ臺灣總督府專賣
局之ヲ行フ但シ内地ニ於ケル樟腦、樟腦油ノ製造ノ許可ハ所轄地方廳之
ヲ行フ

第十條 樟腦、樟腦油ハ總テ競賣ス但シ必要ト認ムルトキハ定價ヲ以テ賣
渡スコトヲ得

第十一條 政府ニ納付前粗製樟腦、樟腦油ニ他物ヲ混和シタル者ハ十圓以
上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ粗製樟腦、樟腦油ハ何人ノ所有タルヲ問ハ
ス之ヲ沒收ス

第十二條 第四條、第五條又ハ第六條ニ違背シタル者ハ五十圓以上五百圓
以下ノ罰金ニ處シ其ノ犯罪ニ係ル樟腦、樟腦油ハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡、
消費シ又ハ輸出シタルトキハ其ノ代價ニ相當スル金額ヲ追徴ス

第十三條 政府ヨリ賣渡ヲ爲ササル粗製樟腦、樟腦油ニシテ犯人以外ノ所
有ニ係ルトキハ第十一條ノ場合ヲ除クノ外政府ハ之ヲ收納シ第三條ニ準
シ賠償金ヲ交付ス

第十四條 第八條ノ場合ニ於テ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ又ハ之ニ支障ヲ
加ヘタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法ニ正條アルモノハ
其ノ規定ニ依ル

第十五條 政府ニ對シ又ハ當該官吏ノ尋問ニ對シ事實ノ申告ヲ詐リタル者
ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不論罪及減輕、再犯加重、數罪俱發
ノ例ヲ用ヰス但シ刑法第七十五條第一項ノ場合又ハ情ヲ知ラスシテ第四
條ニ違背シタル場合ニハ不論罪ニ關シ刑法ノ規定ニ依ル

第十七條 樟腦、樟腦油ノ製造業者又ハ取引人ノ代理人、戶主、家族、同居
者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ヲ犯シタルトキハ製
造業者又ハ取引人ハ自己ノ指揮ニ出サルノ故ヲ以テ本法ノ處罰ヲ免ルル

コトヲ得ス

明治三十三年法律第五十二號ノ規定ハ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

第十八條 本法施行ノ爲必要ナル規程ハ内地ニ於テハ主務大臣、臺灣ニ於テハ臺灣總督之ヲ定ム

附則

第十九條 本法ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十條 本法施行ノ際内地ニ於テ製造業者又ハ賣買業者ノ所有スル粗製樟腦、樟腦油ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ準シ之ヲ政府ニ納付スヘシ

第二十一條 本法施行ノ際内地ニ於テ樟腦、樟腦油ヲ製造スル者ハ明治三十五年五月一日迄ニ本法ニ依リ許可ヲ受クヘシ其ノ期間内ハ従前ノ製造ヲ繼續スルコトヲ得

第二十二條 臺灣樟腦及樟腦油製造規則ニ依リ特許ヲ受ケタル者ハ其ノ期間満了ノ日迄本法ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

(政府委員後藤新平君演壇ニ登ル)

○政府委員(後藤新平君) 此法案ハ樟腦ノ專賣法ヲ先ニ臺灣ニ布イテ其後ノ經驗ニ依ッテ見マシテモ、臺灣並内地即チ本邦ノ特產物デアルノデ樟腦ハ他ヨリ貿易品トシテ澤山ニ產出ハ致シマセヌ、ソレ故ニ此樟腦ノ專賣法ノ統一ガ附キマスレバ益當初臺灣テ專賣法ヲ施行シマシタ時ノ目的ヲ達スルコトノ便益ヲ得マスル譯デアリマス、御承知ノ通既ニ此三年間ノ經驗ニ依ッテ見マスルト内地ニ樟腦專賣法ヲ布カザルガタメニ外國ノ市場ニ於ケル樟腦ノ專賣ノ上ニ附キマシテ少カラヌ影響ヲ被ッテ居ルコトヲ見出シマシテゴザイマスカラシテ、此度此法案ヲ提出シテ其效果ヲ完ウスルコトヲ努メヤウト云フ案デアリマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 此委員ノ選定ハ議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黑田長成君) 海底電信線保護萬國聯合條約罰則法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

海底電信線保護萬國聯合條約罰則法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付

候也

明治三十五年二月二十七日

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

衆議院議長片岡健吉

海底電信線保護萬國聯合條約罰則

第一條 萬國聯合條約ニ依ル海底電信線ヲ切斷又ハ破損シ因テ通信ヲ障害シタル者ハ一月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其ノ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

過失ニ因リ前項ノ海底電信線ヲ切斷又ハ破損シ因テ通信ヲ障害シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 過失ニ因リ又ハ自己ノ生命若ハ船舶ヲ保護スル爲己ムヲ得スシテ海底電信線ヲ切斷又ハ破損シタル者ハ其ノ船舶ノ初メテ到著シタル地ノ電信官署警察官署(外國ニ於テハ其ノ地所在ノ帝國領事館)ニ到著ノ時ヨリ二十四時間以内ニ届出ツヘシ

前項ノ規定ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三條 條約第五條第一項第二項第三項及第六條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條 條約第十條第二項ノ場合ニ於テ公書ノ呈示ヲ拒ミタル者ハ四十圓以下ノ罰金ニ處ス

暴行脅迫ヲ以テ其ノ呈示ヲ拒ミタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

附則

明治十八年七月布告第十八號海底電信線保護萬國聯合條約罰則ハ之ヲ廢止ス

(政府委員淺田德則君演壇ニ登ル)

○政府委員(淺田德則君) 本案ニ附キマシテ説明致シマス、現行ノ海底電信線保護ノ萬國聯合條約罰則ハ明治十七年ノ四月ニ我帝國ガ加入致シマシタル所ノ同條約ノ十二條ニ基キマシテ十八年ノ布告第十八號ヲ以テ制定セラレタモノデアリマス、デ其法文中ニ多少不備ノ點モアリマスルシ、又本則中ニ電信條例ニ準據スルト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハ三十三年ニ電信法ガ公布ニナリマシテ廢止致サレマシタ、茲ニソレ等ノ改正ノ必要ヲ認メマシタ次第デアリマス、宜シク御審議ノ上御協賛ヲ願ヒマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 此委員ノ選定ハ議長ノ指名デ御異議ハゴザイマ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十五年二月二十七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法別表中左ノ通改正ス

神奈川縣	二人	秋田市	一人
横濱市	二人	郡部	六人
群馬縣	六人	鳥取縣	六人
群馬縣	六人	鳥取市	一人
群馬縣	六人	郡部	三人
群馬縣	六人	廣島縣	一人
群馬縣	六人	廣島市	一人
群馬縣	六人	尾道市	一人
群馬縣	六人	郡部	十人
津市	一人	香川縣	十人
四日市市	一人	高松市	一人
郡部	七人	丸龜市	一人
福島縣	七人	郡部	五人
若松市	一人	福岡縣	五人
郡部	八人	福岡市	一人
青森縣	八人	久留米市	一人
弘前市	一人	門司市	一人
青森市	一人	小倉市	一人
郡部	四人	郡部	十人
秋田縣	四人		

(政府委員山縣伊三郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(山縣伊三郎君) 衆議院議員選舉法別表中改正ヲ要シマスル要旨

貴族院議事速記録第十九號

明治三十五年三月三日

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法中改正法律案 第一讀會

二二二

ハ此理由書ニモ掲ゲテアリマスル通、改正選舉法制定ノ當時、特別選舉區タルヲ得ザル市ニシテ其後人口ノ著シク増加シ、又小倉市高崎市ノ如キハ其後市制ヲ施行シタルモノデアリマシテ、是レ亦人口ノ三萬以上ニ達シタルモノデアリマスカラ、此際之ヲ一ノ選舉區トシテ議員ヲ配當セントスル次第デアリマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 此特別委員ハ議長ノ指名デ御異議ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵黒田長成君) 明治三十三年度豫備金支出ノ件外四件承諾ヲ求ムルノ件、政府提出、衆議院送付、會議

一明治三十三年度豫備金支出ノ件

一明治三十三年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一明治三十三年度特別會計豫備金支出ノ件

一明治三十三年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

一明治三十三年度清國事件費豫算外支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十五年二月二十七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 是ハ毎年承諾ヲ求メマスルモノデ、別ニ申上ゲマス程ノコトモゴザイマセヌガ、唯今年ハ三十三年度ニ於キマシテ北清事件ニ附キマシテ政府ガ支出致シマシタモノガ加ッテ居リマス、即チ二千八百萬圓ノ事後ノ承諾ヲ求メルト云フコトニナッテ居リマス、尤モ決算ニ於キマシテハ其中五六百萬圓ハ減ズル積デゴザイマス、唯今承諾ヲ求メマスルノハ二千八百萬ノ支出ニナッテ居リマス、其外ノ事ニ附キマシテハ通常毎年承諾ヲ求メマス事柄デアリマスカラ別段ニ申上ゲマセヌ

○副議長(侯爵黒田長成君) 委員ノ選定ニ移リマス、議長指名デ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 地租ヲ課セサル土地ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

地租ヲ課セサル土地ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十五年二月二十八日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

第一條 地租ヲ課セサル土地左ノ如シ

一 御料地

二 御陵墓地

三 皇族賜邸

四 國有地

五 國、府、縣、郡、市、町、村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スルモノ但シ有料借地ハ此ノ限ニ在ラス

六 神社、建物アル遙拜所、寺院、佛堂及祠宇ノ境内地ニシテ借地ニ非サルモノ

七 公益ノ爲營利ヲ目的トセス直接ニ祭祀、宗教、教育、學藝、慈善ノ用ニ供スル土地ニシテ借地ニ非サルモノ但シ其ノ事業ノ管理又ハ監督ノ爲ニ非シテ住居ト共用スルモノハ此ノ限ニ在ラス

八 共同墓地及共同火葬場敷地

九 道路敷地、鐵道用地、河川敷地、運河敷地、水道用地、下水道用地、公共溝渠敷地及堤塘敷地

十 用惡水路敷地、井溝敷地及溜池敷地

十一 保安林

府、縣、郡、市、町、村其ノ他ノ公共團體ハ前項ノ土地ニ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス但シ所有者以外ノ者御料地又ハ國有地ヲ前項第五號乃至第十號ノ目的以外ニ使用スル場合ニ於テ其ノ土地ニ對シ使用者ニ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルハ此ノ限ニ在ラス

第二條 府、縣、郡、市、町、村其ノ他勅令ヲ以テ指定スル公共團體カ公用又ハ公共ノ用ニ供スヘキモノト定メタル其ノ所有地又ハ其ノ目的ヲ以テ取得シタル土地ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス但シ命令ノ定ムル期間内ニ公

用又ハ公共ノ用ニ供セサルトキハ此ノ限ニ在ラス
第三條 前二條ニ該當セサル土地ニシテ之ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ以後ノ納期ニ於テ徵收スヘキ租稅其ノ他ノ公課ヨリ之ヲ徵收セス
前二條ニ該當スル土地ニシテ之ニ該當セサルニ至リタルトキハ其ノ以後ノ納期ニ於テ徵收スヘキ租稅其ノ他ノ公課ヨリ之ヲ徵收ス

附則

第四條 本法ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ北海道ヲ除クノ外未タ地租條例ヲ施行セサル地ニ付テハ其ノ施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五條 地所名稱區別ハ之ヲ廢止ス

第六條 共同墓地ノ外本法施行前墳墓地トシテ地租ヲ課セサル土地ニシテ本法施行後其ノ供用ヲ變セサルモノハ共同墓地ニ準ス

第七條 本法ニ規定シタルモノヲ除クノ外從前ノ法令中地租ヲ課セス又ハ之ヲ免除スル土地ニ關スル規定ハ其ノ效力ヲ失ハス但シ明治十年太政官

布告第十八號、地租條例第四條及第十三條並明治三十三年法律第十九號ハ此ノ限ニ在ラス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 此法律ハ地租ヲ課セナイ土地ノ總テノモノヲ茲ニ綜合スルタメニ規定ニナリマシタ法律デゴザイマシテ、今日ノ法律デハ地

租ヲ課セナイ土地ハ第一ニ明治七年ニ出來マシタ地所名稱區別ト云フモノニ於テ規定ガシテゴザイマスルシ、又地租條例ノ中ニ於テモ規定ガゴザイマス、

其他特別法ノ中ニ於テ或ハ私設鐵道法トカ水道條例トカ若クハ其他各種ノ單行法ニ於テ地租ヲ課セナイモノガ所々ニ現在シテ規定ガゴザイマスノデ、此

土地ハ地租ヲ課スベキヤ否ヤト云フコトヲ調ベルニハ各種ノ法律ヲ併セテ見ナケレバ分ラヌト云フヤウナ不便ガゴザイマス、殊ニ地所名稱區別ノ如キハ

制定ノ當時即チ明治七年頃ニ於テハマダ法人ト云フ觀念ノ明デナイ頃デアリ

マシタカラ、今日デ見マスレバ法人ノ所有デナケレバナラヌモノガ官有地ト

云フヤウナ稱ヘラスルコトニナツテ居リマスルノデ、事實ト法律ノ規定ノ取扱

トガ一致セナイト云フヤウナコトモゴザイマスルノデ、此法案ニ依ツテ總テノ

ヲ整理致シマス、尙ホ同時ニ其所有ノアル所ニ於テ名稱ヲ附シテ行クヤウニ

スルト云フノガ本法ノ主意デゴザイマス、ドウカ速ニ御協賛ヲ願ヒマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 委員ノ選定ハ議長指名デ御異議ハゴザイマセヌ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十五年二月二十八日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

會計法中左ノ通改正ス

第十五條第二項第六號中「五百圓」ヲ「千圓」ニ第八號中「三千圓」ヲ「六千圓」ニ改ム

第二十四條第七號中「五百圓」ヲ「千圓」ニ第八號中「二百圓」ヲ「四百圓」ニ改ム

〔政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 是ハ會計法中ニ規定シテゴザイマスル金額ヲ改正致シマスノデ、ソレハ會計法ハ二十二年ノ制定法デゴザイマシテ、其以來物價モ變動致シマスルシ、貨幣モ變テ居リマスルト云フヤウナコトデ、少シク金額ノ制限ガ小サ過ギマスルノデ、即チ二十二年ニ制定致シマシタ金額ヲ此度ハ倍ニ致シマスルト云フノデゴザイマス、此事ニ附キマシテハ過日本院カラ會計法及會計規則改正請願ノ件トシテ政府ニ御送付ニナリマシタ事柄ノ一部分デゴザイマス、其他ノ事柄ハ別段法律ノ規定ヲ要セズシテ出來マスルモノモゴザイマスルカラ、其事ニ附キマシテハ政府ニ於キマシテ唯今熟議致シテ居リマスノデ、請願中デ採用スベキモノハ採用致シマス考デゴザイマス、茲ニ提出致シマシタ分ハ即チ法律ノ改正ヲ要シマスル、極テ簡單ナ改正デ唯金額ヲ倍ニ致スト云フニ止マリマスノデゴザイマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 委員ノ選定ハ議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

貴族院議事速記録第十九號

明治三十五年三月三日

會計法中改正法律案 第一讀會
沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律案 第一讀會ノ續

沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律案
右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十五年二月二十八日

右特別委員長

伯爵上杉 茂憲

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔別冊〕

沖繩縣ノ區長、間切長若ハ島長及東京府管内伊豆七島中八丈島、大島及利島ノ名主若ハ一式引受人、三宅島、新島、神津島及御藏島ノ地役人ハ國稅ノ徵集ニ關シ國稅徵收法中滯納處分ノ例ニ依ルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ物品納ノ國稅ニ關スルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ現金ニ換算シテ其ノ怠納額ヲ定ム

附 則

本法ハ明治三十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔伯爵上杉茂憲君演壇ニ登ル〕

○伯爵上杉茂憲君 特別委員會ノ結果ヲ御報道致シマス、抑、沖繩縣ハ勿論ノコト、其他伊豆七島邊ノ國稅ヲ徵集致シマスル致方ト申スハ内地ノ方トハ全ク趣ヲ異ニ致シテ、收稅官吏ガ各地ニ就イテ國稅ノ徵集ヲ致スト云フコトデハアリマセヌ、ドウ云フ方法ダト申シマスルト云フト、間切長ト申スカ名主ト云フカ其一村ノ長タル者ハ一村ノ財政、一地方ノ財政、其土地ノ人民ヨリ其者ガ徵集ヲ致シマシテ纏メテ各國稅ヲ納メマスルコトデ、國稅徵集官吏ガ人民カラ直接ニ取立テルト云フコトハ致シマセヌノデゴザイマス、從テ滯納處分ト云フコトモ是マデ其島々ニハ行レテ居リマセヌ、併ナガラ沖繩縣等ニ於キマシテハ習慣ニ依テ内法ト稱ヘマシテ全ク其一同切一村ノ申合ト申スヤウナモノガアリマシテ間切長ト云フ者ガ滯納處分ト云フモノヲ致シマシテ、滯納處分ト云フモノハ大分嚴酷ナルコトモゴザイマシテ、本員等ノ沖繩縣ヲ擔任致シマシタ頃ハ其習慣モ行レマシテ、別段其滯納ヲスルト云フヤウナ者ハ多分モアリマセヌノデアリマシタ、然ルニ近年ノ所ヲ承リマスルト云フト、人智モ次第ニ發達致シテ參リマスル所カラ致シテ國家ニ行ル、滯納處分デアリマセヌノデアリマスカラ、人民ハ皆懶ケマシテ間切長ト云フヤウナ者ガ申スコトヲ用ヒズ、段々滯納者ガ殖エテ參ル、サリトテ之ヲ裁判所ニ訴ヘテ法律ヲ以テドウ斯ウ處分ヲセント存ジマシテモ、方々ノ滯納處分デアリ

御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年二月二十八日

右特別委員長

子爵長岡護美

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

〔子爵長岡護美君演壇ニ登ル〕

○子爵長岡護美君 此案モ誠ニ簡單ナ案デアリマシテ別ニ説明ヲ要スル程ノコトモナイト考ヘマス、委員會ハ一度開キマシテ内閣委員ヨリ大體ノ説明ヲ請ヒマシテゴザイマスガ、是ハ全ク明治三十四年ノ告示デ新瀉縣ノ中ノ即チ此欄内ニアル諸町村ガ廢置分合ノ結果、此區裁判所ノ管轄ガ一區ニ跨ッテ居リマスノデ、統計上ノ不便利ハ固ヨリ、又戸籍簿ニ捺印デモスルトキニ當リマスト甲ノ區裁判所ニ行ッテ捺印シテ又乙ノ裁判所ニ行カナケレバナラヌト云フ次第デアリマシテ、此法律ノ改正ヲ必要ト政府デ認メテ之ヲ提出サレタノデアリマス、衆議院カラ添ヘテアリマスノモ同様ノ譯デアリマシテ何モ詳シク申シマセヌカラ、ドウカ讀會省略デ速ニ可決アラント希望シマス、チヨット申シテ置キマス、西浦原郡ノ内ノ村ノ内ニ「外瀨村」ト云フノハ「升瀨村」ノ誤ト云フコトヲ政府カラ正誤ガ參ッテ居リマスカラ、此事モ併テ申シテ置キマス

○子爵曾我祐準君 讀會省略ニ賛成

○侯爵細川護成君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 讀會省略ノ動議ハ成立ッタモノト認メマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、本案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○南郷茂光君 賛成

○男爵楫取素彦君 賛成

○伯爵上杉茂憲君 賛成

○田中源太郎君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 讀會省略ノ動議ハ成立ッタモノト認メマス、讀會省略ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、次ニ委員會修正案ニ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 國勢調査ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

國勢調査ニ關スル法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十五年二月二十五日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

第一條 國勢調査ハ各十箇年毎ニ一回帝國版圖内ニ施行ス

第二條 國勢調査ノ範圍ノ方法及經費ノ國庫ト地方分擔トノ割合其ノ他必要ノ事項ハ別ニ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 第一回國勢調査ハ明治三十八年ニ於テ施行ス但シ第二回ニ限リ第一回ヨリ起算シ滿五箇年ヲ以テ施行シ爾後第一條ノ例ニ依ル

○馬屋原彰君 是ハ衆議院提出デアリマスルガ、大體ニ附イテ政府委員ニ質問ヲ致シタウゴザイマス、此案ハ三十八年カラ國勢調査ヲ始メヤウト云フコトニナッテ居リマスルガ、日本デハ是マデ國勢調査ト云フコトハ未ダ曾テ著手シタコトガナイノデアル、ノミナラズ三十八年ト言ヘバ程近イコトデアリマスルガ、全體政府ハ此法案ノ如ク國勢調査ト云フモノガ十分ニ實行ガ出來得ルト云フ御考ガアリマスルカ、其點ヲ伺ヒタイ

(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 是ハ衆議院ノ案デゴザイマスルガ、唯今政府ノ意向ヲ御尋デアリマスカラ御答致シテ置キマスガ、國勢調査ト云フコトハ政府ニ於キマシテモ極テ必要ナコト、認メテ居リマスル、又此國勢調査實施ノコトニ附キマシテハ既ニ舊統計院ノ頃カラ段々調べテ居リマシテ、今カラ丁度二十年モ……二十年餘モ前ニ甲斐國ニ於キマシテ一部分ノ國勢調査ヲ試驗ノタメニ實施シタコトモゴザイマス、到底此國勢調査ト云フコトガ行レヌ以上ハ一國ノ財政ヲ經畫致シマスルニ附キマシテモ、又其他ノ行政ヲ施行致シマスルニ附キマシテモ、甚シウ缺點ヲ感ズルノデゴザイマシテ、是非政府ニ於キマシテモ實施致シタイ考ヲ持ッテ居リマス、此國勢調査ト云フコトハ併ナガラ極テ重大ナル所ノ事業デゴザイマスルニ依リマシテ、其實施ノ準備ト云フコトハ十分ニ經畫ヲ要スル次第デアリマス、併ナガラ此國勢調査ニ附キマシテハ時期ガゴザイマス、時期ト申シマスノハ各國共ニ同シ年ニ實施スルノ

ヲ以テ便宜ト致スト云フコトデゴザイマス、即チ此千九百年ニ各國ガ聯合シテ國勢調査ヲシタイト云フコトヲ申シタコトガゴザイマシテ、其當時ニ於キマシテモ政府ニ於キマシテ行ッテ見タイ考ガアリマシタガ、何分時日ガ許サヌト云フコトデ見合セニナリマシタ、此次ハ即チ千九百十年即チ明治四十三年ニナリマス、明治四十三年ニハ必ズ實施致シタイ考ヘテ居リマスノデゴザイマス、所ガ此衆議院ノ提出ニナッテ居リマスルノハ明治三十八年ニ於キマシテ第一回ヲ調査致シ、ソレカラ明治四十三年ニ第二回ヲ調査致シマシテ、其以後ハ十年目毎ニ調査シヤウト云フ法律案ニナッテ居リマスガ、ソレデ各國ノ例ヲ見マスルト、五年毎ニ調査スル國ト十年毎ニ調査スル國トアリマス、衆議院ノ案ハ即チ十年毎ニ調査スルト云フ方針ヲ取ツタモノト認メマシテ、政府ニ於キマシテモ之ヲ以テ至當ナリト考ヘマスルガ、唯衆議院ノハ三十八年ニ一ツ調査ヲシテ見タイト云フ希望デアアル、其事ハ衆議院ノ委員會ニ於キマシテ政府委員カラモ段々質問致シテ見マシタ所ガ、ドウモ明治四十三年マデ待ツト云フコトハ餘リ時期ガ後レル、且ツ又調査ノ上ニ於テモ三十八年ニ一ツ調査ヲシテ置ケバ、ソレハ左程完全ナル調査デナクツテモ宜シイ、先ツ簡易ナ方法デ以テ三十八年ニ一ツ調査ヲシテ貫ヘバ、四十二年ニナッテ今度調査ヲスルトキニ頗ル完全ナモノガ出來ルデアラウ、ソレデドウカ三十八年ニ第一回ノ調査ヲシ、ソレカラ今度四十二年ニ第二回ノ調査ヲスルト云フコトニ致シタイ、サウスルト萬國ト聯合シタ調査ガ四十二年ニ出來ルコトデアアルカ、ソレカラ後、十年目毎ニ調査シタイト云フコトデアリマシタ、其節政府委員カラ申述ベマシタ意思ハ政府ニ於テモ其事ハ誠ニ希望スル所デアアルガ、三十八年ト云フコトニナルト餘程實施ノ準備ヲ急ガナクテハナラヌ、又費用ノ點モ隨分掛ルコトデアルカラ、政府ノ希望ヲ申セバ四十二年カラ著手スルト云フコトニ修正ニナルコトヲ希望スルノデアアル、併ナガラ調査ノ方法ハドチラガ完全デアアルカト云ヘバ、三十八年ニ一ツ簡單ナル調査ヲスルト云フコトガ完全ト云フコトカラ言ヘバ其方ガ完全デアラウ、ガ政府ノ意思ハドウデアアルカト云フコトヲ御尋ニナレバ、明治四十三年ヲ以テ實施スルト云フコトニナシタイト云フ意思ナノデアアルト斯ウ答ヘタ次第デゴザイマス、併ナガラソコニナリマスルト云フト議論ノ點ニ僅ナ違ヒニナリマスルカラ、本案ヲ御決定ニナリマシタ以上ハ、固ヨリ政府ハ此法律案ノ通ニ施行スル考ナノデ政府ノ意見ハドウデアアルカト云ヘバ、政府ハ四十二年ヲ以テ實施シタイト云フ意見ヲ持ッテ居ッタト云フコトヲ御答スルノデアリマス

○馬屋原彰君 唯今ノ御説明デ略、分リマシテゴザイマスガ、此國勢調査ト云フコトハ外國デ所謂せんさすト云フコトデアラウト考ヘマスルガ、サウデアリマスレバ御承知ノ通區域ノ廣イモノニナツテ來ルヤウニ思ヒマスル、扱之ヲ實行スルト致シマシタナラバ、本員杯モ固ヨリ希望スル所デアリマスガ、如何セン我國ニ於テハ是マデ手慣レヌコトデアル、成ル程先刻政府委員カラ述ベラレマスル通、私モ聞込シテ居ル通、十二年頃ニ或ル地方ノ一部ニ附イテ試験的ニヤツテ見タト云フコトハアル、併シハ一部ノコトデ、此國勢調査ト云フコトハ即チ全國ニ跨ツテ同時ニヤルト云フ程ナモノデアリマスルカラ、ソレモ出來ルコトナラバ私モ喜ンデ贊成ヲ致シタイノデゴザイマスガ、併シ今日カラ之ヲ準備シテ此國勢調査ヲ實行シヤウト云フナラバ、第一之ニ必要ナル手續ガアラウト思フ、其邊ハ政府ニ於テ果シテ概略ノ見込ガ立ッテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ此處デ一ツ承ツテ置キタイ、ソレハ外デアリマセヌガ、之ヲ實行スルトナツタナラバ、是ハ必ズ中央ノ統計局デ之ヲ一手デヤラナクテハナラヌデアラウト思フ、果シテ然ラバ今日中央ノ統計局ダケデハドウデアラウカ、必ズ之ヲ實行スル上ニ附イテハ今一層必要ナル統計機關ト云フモノヲ設ケ、而シテ速ニ之ガ準備ヲ今カラシテ行クト云フコトガナケラネバ逆モ三十八年ニ完全ナ目ハ達シ得ラレナイノミナラズ、私共ハ甚ダソコヲ心配シテ居ルガ、却ッテ亂雜ナル結果ヲ起シハシマイカト思フ、ソコデ政府ハ大體ニ御同意トアルナラバ先ヅ此案ガ法律ト爲リマスルヤ否ヤ、直チニ今ノ統計機關ト云フモノ、整理ト云フコトニ附イテハ如何ナル御積リデアルカ、今日ノ統計局以外ニモウ一ツ之ニ伴フ所ノ機關ト云フモノヲ完備シテ……是ハ何時デモ完備スル、即チ創設スルト云フコトノ御見込ハアツテ而シテ此事ニ贊成ニナツタカト考ヘルノデアリマスガ其邊ヲ承リタイ

○政府委員(阪谷芳郎君) 今日ノ統計局デハ固ヨリ此仕事ハ出來マセヌ、今日ノ統計局ト申シマスルモノハ誠ニ組織モ微々タルモノデゴザイマスカラ出來マセヌ、又御尋ノ如クニせんさす即チ國勢調査ヲ實施スルニ附イテハ何レ中央ノ方デ取纏メルト云フ方法ヲ取ルコトニナラウト考ヘマス、固ヨリ未ダ其事ニ附イテ決定シタト云フ譯デハゴザイマセヌガ、今日ノ各國ノ進歩ノ上カラ考ヘマスレバ、之ヲ地方ニ分ケテ調査スルト云フ方ノコトハ甚ダ不完全ナコト、學說モ極ッテ居ルヤウニ承知致シテ居リマスルデ、日本政府モ之ヲ採用シテ實行スル場合ニハ必ズ中央ノ方ヘ取纏メルト云フ方法ヲ取ラナケレバナラヌ、然ル上ニハ今日ノ統計局ト云フモノ、組織ハ頗ル變更致サナケレ

バナラヌト考ヘマス、其事ニ附キマシテハ段々主務ノ局ニ於キマシテハ既ニ調査シタモノモ追モゴザイマスルガ、未ダ之ヲ以テ政府ノ議ヲ決定シタト云フモノハ今日ハナイノデ、如何トナレバ此法律案ト云フモノガ政府カラ提出シタ譯デハナイノデスカラ、主務ノ局デツレノ調査シタモノハゴザイマスガ、未ダ政府ノ議トシテ極ッタモノハナイノデアリマス、併シ此法律案ガ通過致シマスレバツレノ施行ノ準備ニハ著手致ス積デゴザイマス、先ヅ三十八年カラデモ幾ラカノ費用ヲ掛ケマスレバ決シテ實施ノ出來ヌコトデハナイト考ヘマス

○馬屋原彰君 モウ一ツ御尋シテ置キタウゴザイマスガ、サウスルト唯今ノ御返事ニ依ルト大體ハ宜シイコトデアルケレドモ、未ダ政府ニ於テツレノ準備ノコトニ附イテハ一定シテ居ラナイ、一定ノ見込ガ附イテ居ラナイト云フ御答辯デアル、併シナガラ之ハ中央デアラナクテハナラナイ、中央デヤル以上ハ是マデノ統計局デモ濟ムマイ、是ハドウシテモ組織ヲ變更シナクテハナラヌト云フ主意ノヤウデアアル、其點ハ分リマシタ、成程此國勢調査ハ餘程重大ナ大業デアラウト考ヘマス、ドウカ大體ノ方針ハ我々ハ贊成ヲシテ居リマスカラシテ、折角ノ此大企業ヲヤラウト云フコトニナリマスレバ其準備ト云フノハ出來得ルダケ完全ナル設備ヲセネバナラヌト云フ希望ヲ持ッテ居リマス、ノミナラズ此國勢調査ノ結果トシテ出來上ル所ノ統計ハ我國ノ是マデノ官府統計ト所謂稱シタモノデナク、帳面ノ上ニ附イテ居ル所ノ材料ヲ以テ蒐メテ一ノ統計年鑑ヲ編纂スルト云フ如キモノデナクシテ、其手段方法ト云フモノハ全ク異ニシナクチヤナラヌモノデアルヤウニ本員共ハ考ヘテ居リマスルガ……

○副議長(侯爵黒田長成君) チョット申シマスガ、御意見デアリマスカ

○馬屋原彰君 イヤ意見デヤアリマセヌ、質問デゴザイマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 質問ナラバ質問ノ要領ヲ……

○馬屋原彰君 其邊ヲ申シマセヌト質問ノ主意ガ分リマセヌカラ其點カラ伺ヒマスガ、科目ハドウ云フコトニスル、科目ノ數ハ如何、又事物ノ調査ノ方法ハドウ云フ方法ニスルト云フコトモ概略ノ御見込デモ附イテ居ルコトナラバ、ソレモ伺ヒタイ、ソレカラ金ハドウ位、費用ハドウ位、一回ニドウ位掛ルカト云フコトヲ……

(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今ノ御尋デゴザイマスルガ、主務ノ局ニ於キマ

シテ調ベタモノモゴザイマス、科目ノ數モ至ッテ多ウゴザイマス、併ナガラ是等ノコトニ就キマシテハ一々茲ニ御答申スコトハ煩雜ニナリマスルデ、何レ委員會ニ於テ申述ベタイト考ヘマスル

○副議長(侯爵黒田長成君) 本案特別委員ノ選舉ニ移リマス、議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法別表中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法別表中改正法律案
右本院提出案及送付候也

明治三十五年二月二十七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法別表中左ノ通改正ス

新潟縣	一 人
郡 部	十二 人
佐 渡	一 人

○副議長(侯爵黒田長成君) 本案特別委員ノ選定ハ議事日程第十三ノ委員ト同一ニ致シタラ如何デスカ

(「贊成」異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 會計法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會
會計法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

明治三十五年二月二十八日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

會計法中左ノ通改正ス
第五條ニ左ノ一項ヲ加フ

必要避クヘカラサル經費及法律又ハ契約ニ基ツク經費ニ不足ヲ生シタル場合ノ外追加豫算ヲ提出スルコトヲ得ス

○副議長(侯爵黒田長成君) 此特別委員ハ日程ノ第十九ノ委員ト同一ニ致シテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 民法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

民法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年二月二十八日

右特別委員長

伯爵徳川 達孝

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

(伯爵徳川達孝君演壇ニ登ル)

○伯爵徳川達孝君 民法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報道致シマス、此委員會ハ二回程開キマシテ、此案ハ御承知ノ通衆議院カラノ提出デハゴザイマスルガ、政府委員ニモ一應質問ヲ致シマシテ熟慮審議ヲ盡シマシタ所、抑此法ハ如何ナルモノカト申セバ、御承知モゴザイマセウガ、民法ノ七百四十三條ニ於テハ分家ヲ致シタトキニハ分家者ノ直系卑屬即チ本家ニ在ル所ノ直系卑屬ヲ分家ノ家族トスルコトガ出來ナイ規定ガアリマス、併ナガラ分家スル當時ハ出來ナイガ分家シタ後ニハ出來ルト云フコトガアリマシガ、分家スル當時ニ出來ナイト云フヤウナコトデアッテハ七百四十三條ハ少シ不備デアアル、ソレ故ニ其不備ヲ補フタメニ此七百四十三條ノ第二項ト云フモノヲ此度衆議院カラ提出シタ次第デアアル、ソレカラシマシテ此附則ノ所ニ於キマシテ將來ハ此衆議院カラ提出セラレタ所ノ改正デ都合ガ宜イガ、本法ノ此施行前ニ分家ヲシタ所ノモノハ此便宜ノ事ニ從フコトガ出來ナイ、故ニ此附則ヲ置キマシテ本法施行前ニ分家シタル者ハ云々ト箇條ヲ置キマシテ、過去ニ遡ッテモ此便宜ヲ得ルト云フ主意デゴザイマス、斯ノ如キ譯デゴザイマシテ、委員ノ中ニハ之ニ附イテ多少修正ヲ致サウト云フ人モゴザイマシタ所ガ、結局原案ノ儘デ差支ハナイ、是ハ至極宜イト云フコトデ全會一致ヲ以テ可決ニナッタ次第デゴザイマス、右様ノ次第デゴザイマスカラ滿場諸君ニ於テモ御修正ヲ爲サルトカ云フコトガアレバ免モ角モ、サモナケレバ委員會ノ決議ニ御贊成アッテ讀會ノ順序ヲ省略セラレテ直ニ可決アラントコトヲ希望

致シマス

○男爵調所廣丈君 賛成

○馬屋原彰君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

○子爵大田原一清君 賛成

(其他「賛成」ト呼フ者多シ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 讀會省略ノ動議ガ成立チマシタ、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵黒田長成君) 市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

明治三十五年二月二十八日

右特別委員長

子爵谷 干城

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

市町村ハ現金ノ出納及保管ノ爲内務大臣ノ定ムル所ニ依リ金庫ヲ設ケ其ノ他財務ニ關シ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

市町村ノ爲請負ヲ爲シ若ハ市町村ノ爲金錢出納ノ取扱ヲ爲ス者又ハ市町村ノ爲請負ヲ爲シ若ハ市町村ノ爲金錢出納ノ取扱ヲ爲ス法人ノ役員ハ其ノ市町村ノ市町村會議員又ハ名譽職市參事會員ノ被選舉權ヲ有セス

(子爵谷干城君演壇ニ登ル)

○子爵谷干城君 此今問題ニナッテ居リマスル法案ノ委員會ニ於キマシテハ至テ是ハ簡單ノ案デゴザイマスカラシテ僅カ一日デ結了致シマシテゴザンヌ、デ抑衆議院ハ本案ノ出マシタ精神ヲ能ク糺シテ見マスルト、近來此社會ノ腐敗ニ伴ウテ總テ此市町村制ノ政ヲ左右シテ行ク所ノ大事ノ議員、又其

公吏名譽職員ト云フモノ、問ニ種々ノ其言フベカラザル惡弊ガ生シ御承知ノ通新聞等ニ頻々ト其事ハ顯レテ居リマス、是ハ單ニ新聞ノ惡口ナラバ一向齒牙ニ懸ケルニ足ラヌヤウデアリマスルケレドモ、サナクシテ御承知ノ通此東京杯ニ於キマシテハ有名ノ收賄事件杯ト云フ喧マシイコトガ起リマシテ、甚ダ此市ノ體面ヲ汚シタルコトハ皆様御承知ノ通デアリマス、デ其腐敗ノ原因ト爲ルベキ所ヲ皆トハ言ハヌケレドモ幾分力之ヲ其矯正セネバ、此儘デ居タナラバ遂ニ此市ノ行政ト云フモノハ散々ノ體ニナラウト云フヤウナコトヲ之ヲ案ジラレテカラニ衆議院デハ之ヲ提出シタモノト見エマス、デ此精神ヲ能ク吟味致シテ見マスルト、委員會ニ於テハ最モ其同意ヲ表スル譯デ、甚ダ宜シイコト、委員會ニ於キマシテハ何レモ同意ヲ表スル譯デアリマスル、然ルニ奈何セン此衆議院ノ委員會ニ於テ決議シマシタ通ナラバ誠ニ結構デアリマスルガ、衆議院ノ委員會ノ決議ハ本會ニ於テ誠ニ其精神トモナルベキ極ク必要ナ所ノ骨ヲ抜イテ仕舞フデアリマスガ、其一部ヲ存シタ、ソレデ大ニ害ニナル所ノモノハ其儘ニシテ僅カ一部分ノ害ヲ除イタト云フニ先ヅ止ルノデアリマス、デソレハ即チ此衆議院ヨリ送付ニナリマシタ所デ見マスルト請負ヲスル所ノ者、又其請負ヲ爲ス其法人ノ役人ダケガ議員名譽職市參事會員ト云フ者ニナルコトガ出來ナイト云フノミデ、肝腎ノ此本ノ議員ノ金錢ノ出入等ノ事ヲ掌ツテ最モ私ヲスルニ便利ノ宜イ所ノ者ハ除イテ仕舞ウテアルノデアリマスル、デ是ハ定メテ衆議院ニ於テハ一部ノ人ノ何カ取間違等ノコトカラシテ斯ウ云フ粗末ナ修正ニナツタモノデ、衆議院ノ諸君ニ於テモ決シテ此社會ノ腐敗市町村政ノ紊亂スルヤウナコトヲ好マル、人ハ一人モ無イ譯デアリマスルガ、ソレニモ拘ラズ此骨ヲ抜イタ非常ナ修正ト云フモノハ何カ一時ノ間違ニ相違ナイト思ヒマスル、ソレデ能ク之ヲ吟味シテ見マスルト衆議院ノ委員會ノ修正ト云フモノハ至極適當ト我々ハ同意ヲ表セザルヲ得ヌモノデアアル、ソレ故ニ委員會ニ於キマシテハ反覆討論ノ末、即チ此唯今差出シテゴザイマスル……御手許ニ出テ居リマスル修正案ノ通ニ致シマシタ、其實ハ即チ此衆議院ノ委員會ノ修正ノ通ニナツタ譯デアリマスカラ、ソレデドウカ諸君ニ於カレマシテモ御賛成ノ上ニ、是レ亦モウ精神ハ分リ切ッテ居リマスカラ、讀會省略デ速ニ御可決ニナランコトヲ希望致シマスル、デ是デ御送付ニナリマシタナラバ衆議院ハ一時ノ間違デ斯ウ云フ修正ニナツタモノニ相違アリマセヌカラシテハ、必ズ同意賛成サル、コト、信ジマス、ドウゾ讀會省略デ決定ニナルコトヲ希望致シマス

ノ定數ノ三倍ニ達セサルトキハ連記投票ヲ用ウヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

投票用紙ハ都長官ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

選舉人名簿ノ縦覽期限後選舉人ノ所屬選舉區ヲ定ムル要件ニ異動ヲ生ス

ルコトアルモ其ノ選舉人ハ前所屬ノ選舉區ニ於テ選舉ヲ行フヘシ

第二十三條 第十二條第二項及第三項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ出

シテ選舉ヲ行フコトヲ得但シ滿二十五年以上ノ男子ニ非サル者及法人ハ

必ス代人ヲ以テスヘシ

代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且停止公權者禁治產者準禁治產者ニ非

サル滿二十五年以上ノ男子ニ限ル但シ一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコト

ヲ得ス前項ノ代人ハ委任狀ヲ選舉長ニ示スヘシ但シ法律上ノ代人ハ此ノ

限ニ在ラス

第二十五條 投票ノ拒否並効力ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決ス

ヘシ

第六十九條 都參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員ノ半數以上

出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第六十四條第二號ノ議決ヲ爲ストキハ都長官及都高等官參事會員ハ其ノ

議決ニ加ハルコトヲ得ス

都參事會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル

所ニ依ル

會議ノ顛末ハ之ヲ會議錄ニ記載シ議長及參事會員二名以上之ニ署名スヘ

シ

第七十一條 都ハ有給ノ吏員ヲ置クコトヲ得其ノ定員ハ都會ノ議決ヲ經テ

之ヲ定ム

都吏員ノ組織任免其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一百四條 財産ノ賣却貸與工事ノ請負及物件ノ調達ハ公ノ入札ニ付スヘシ

但シ臨時急施ヲ要スルトキ又ハ入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハ

サルトキ其ノ他本條ノ例ニ依リ難キ場合ニシテ命令ニ別段ノ規定アルモ

ノハ此ノ限ニ在ラス

第一百十六條 都稅ニ關シテハ法律中規定アルモノヲ除ク外勅令ノ定ムル所

ニ依ル

第二百一十一條 都稅使用料手数料加入金過料過怠金其ノ他都ノ收入ヲ定期

内ニ納メサル者アルトキハ都長官ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分ス

ヘシ

本條ニ記載スル徵收金ハ國ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付

及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

本條都長官ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ヲ違法ナリトスルトキハ行政裁

判所ニ出訴スルコトヲ得

本條第一項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第二百二十七條(原案) 削除

第二百二十七條(原案第百二十八條) 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ內務大

臣ニ報告シ並其ノ要領ヲ告示スヘシ

第二百二十八條(原案第百二十九條)

都ハ都會ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設ク

ルコトヲ得

第三百三十條(原案) 削除

第三百三十一條(原案第百三十三條) 都ノ出納閉鎖ハ會計年度經過後三箇月

ヲ超ユルコトヲ得ス

決算ハ次ノ通常會ニ於テ之ヲ都會ニ報告スヘシ

都長官ハ決算ヲ都會ニ報告スル前都參事會ノ審査ニ付スヘシ若都長官ト

都參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ都長官ハ都參事會ノ意見ヲ決算ニ添ヘ

都會ニ提出スヘシ

決算ハ之ヲ內務大臣ニ報告シ並其ノ要領ヲ告示スヘシ

第三百三十二條(原案第百三十四條) 豫算調製ノ式並費目流用其ノ他財務ニ

關スル必要ナル規定ハ內務大臣之ヲ定ム

第三百三十八條(原案第百四十條) 此ノ法律ニ規定スル異議ハ處分ヲ爲シタ

ル翌日ヨリ起算シ十四日以内ニ之ヲ申立ツヘシ但シ此ノ法律中別ニ期間

ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

此ノ法律ニ規定スル行政訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付

ヲ受ケタル翌日ヨリ其ノ交付ヲ受ケサル者ハ告示ノ翌日ヨリ起算シ二十

一日以内ニ之ヲ提起スヘシ

此ノ法律ニ規定スル異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ付スヘ

シ

前項異議ノ決定書ハ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

此ノ法律ニ規定スル異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算竝天災事變ノ場合ニ於ケル特例ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

異議ヲ申立又ハ訴訟ヲ提起スル者アルモ此ノ法律中別段ノ規定アルモノヲ除ク外處分ノ執行ヲ停止セス但シ行政廳及行政裁判所ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

第四百四十五條(原案) 削除

第四百四十四條(原案第四百十七條) 左ニ掲クル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 都條例都規則ヲ設定スル事

二 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ若ハ大ナル變更ヲ爲ス事

三 使用料手数料加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

四 基本財産ノ處分ニ關スル事

五 特別基本財産及積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事

六 第九十九條及第一百一條ノ處分ヲ爲ス事

七 寄附若ハ補助ヲ爲ス事

八 不動産ノ處分ニ關スル事

九 均一ノ稅率ニ據ラスシテ國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

十 第一百十四條ニ依リ數個人若ハ區ニ費用ヲ負擔セシムル事

十一 繼續費ヲ定メ若ハ變更スル事

十二 特別會計ヲ設クル事

第四百四十七條(原案第五百十條) 内務大臣ハ委員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

内務大臣ハ懲戒處分ヲ行ハムトスル前吏員ノ停職ヲ命スルコトヲ得

第七十九條第三項ノ規定ハ本條ニ依リ解職セラレタル者ニモ之ヲ適用ス

千代田縣設置ニ關スル法律案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十五年二月二十八日

右特別委員副委員長
伯爵清棲 家教

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

第二條(新) 千代田縣ニ於テハ縣知事其ノ他官吏ノ職務關係ハ東京都長官其ノ他都ノ官吏ニ屬ス

第三條(原案第二條) 此ノ法律施行ノ際縣會及縣參事會ノ職務ニ屬スル事項ニシテ急施ヲ要スルモノハ其ノ成立ニ至ル迄ノ間東京都長官之ヲ行フ第五條(原案第四條) 現任衆議院議員ハ此ノ法律施行ノ爲其ノ職ヲ失フコトナシ

舊法ニ依ル衆議院議員選舉區中東京府第十區乃至第十三區ハ千代田縣第一區乃至第四區トシ新法ニ依ル衆議院議員選舉區中東京府郡部伊豆七島トモハ千代田縣小笠原島トシ其ノ區域及議員ノ數ハ此ノ法律施行ノ爲變更セラレルコトナシ

東京都千代田縣組合法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年二月二十八日

右特別委員副委員長

伯爵清棲 家教

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

(伯爵清棲家教君演壇ニ登ル)

○伯爵清棲家教君 今日ハ本案ノ委員長ガ御出席ガゴザイマセヌカラ、私ヨリ代リマシテ委員會ノ模様ヲ報告ヲ致シマスル、委員會ハ兩三回開キマシテ、此案ニ附キマシテ、種々審議ヲ致シマシタ、其結果諸君ノ御手許ニゴザイマスルガ如キ修正ヲ致シマシタノデゴザイマス、就キマシテハ此案ノ提出ニナリマシタ大體ノ理由ハ既ニ本議會ニ於キマシテ提出者ノ一人ヨリ十分ニ御辯明ガアッタコトデゴザイマスルカラ、唯今私ヨリ其理由ヲ申述べマセヌデゴザイマスル、併ナガラ其理由ニ於キマシテハ委員會ニ於キマシテモ速記録ガゴザイマスルカラ、諸君定メシ御承知ノコト、存ジマスルデ、其理由ヲ簡短ニ申上ゲマス、尙ホ修正ノ簡條ニ於キマシテ是レ亦簡短ニ申上ゲヤウト存ジマスル、本案ノ提出ニナリマシタノハ東京ノ如キ即チ大都會ニ於キマシテ普通ノ市制ヲ以テ之ヲ支配スルト云フコトハ宜シクナイ、別ナル方法ヲ以テ此團體ヲ十分ニ能ク整理ヲシテ行クガ宜シイト云フ主意デアリマス、尙又ソレニ附キマシテハ唯其市ノミヲ獨立サシテ置キマシテモ郡部ニ於キマシテモ密接ノ

關係がゴザイマスル今日ノ東京ノ有様デアリマスルカラ、之ニ附キマシテハ一ノ縣ヲ置キマシテ、サウシテ都長官ヲシテ即チ此千代田縣ノ知事ヲ兼務サセルト云フコトノ法案ニナツテ居ルノデアリマス、併ナガラ是ハ此案ノ上ニ表レテ居リマセヌ、是等ハ勅令ニ據リマシテ規定スル考デアアルノデゴザイマス、又今日ニ於キマシテ市郡連帶ニナツテ居ル所ノ經濟ガゴザリマスルガ、是等ハ即チ組合法ニ依ッテ整理スルコト云フ考ニナツテ居リマス、ソレ等ニ於キマシテハ疾ニ諸君ノ御承知ノコトデゴザイマスルカラ喋々ト申シマセヌデゴザイマス、就キマシテハ委員會ニ於キマシテハ此案ニ對シテ反對ノ理由ガゴザイマシタ、ソレハ此案ノ如クスレバ世間ノ所謂蛇ノ目形ノヤウナモノガ出來ルノデアアル、故ニ此案ニスレバ即チ土地ノ割方ガ宜シクナイ、故ニ却テ錯雜ナルコトヲ生ジテ不都合デアアル、又縣ト云フ名ハアレドモ矢張其支配ヲ受ケルコトニナルカラシテ事實宜シクナイ、故ニ唯都ト云フモノヲ置イテ郡ヲ其都ニ隸屬ヲサシテ置クガ宜シイ、ソレデ十分デアアル故ニ此案ハ斯ノ如クスル必要ガナイト云フ大體ノ理由デアリ出マシタ、ソレカラ今一ツ反對ノ理由ガゴザイマシタガ、是ハ前申上デマシタ反對ノ理由トハ少シク異ナツテ居ルノデゴザイマス、ソレハ大體ニ於テハ此案ノ如クデ宜シイ、併ナガラ此案ノ如クスレバ警察權ト云フモノヲ持タナイ所ノ普通ノ縣トハ變ッテ斯ウ云フモノガ出來ルノデアアル、現今デアレバ東京市及郡部ノ如キハ警視廳デ管轄シテ居ルノデアアル、然ルニ此案ノ如クスレバ矢張郡ハ縣ト云フコトニナレバ其縣知事ト云フモノハ即チ警察權ノナイ、即チ行政上半分シカ效力ノナイモノデアアル、故ニ都ト云フモノヲ拵ヘルニ附イテハ必要ナル郡部ノ箇所ハ矢張東京都ノ中へ入レルガ宜シイ、ソレカラ其他ノ郡部ハ近縣ヘ之ヲ附ケテ仕舞フガ宜シイ、サウシテ都長官ヲシテ當然縣ノ職務ヲ執行スルコト云フコトニシタ方ガ宜イノデアアル、斯ウ云フ理由デゴザイマシタ、併ナガラ是ハ是非此案ヲ否決スルコト云フコトニ附イテノ反對ノ理由デハナカッタデアリマス、唯警察權ヲ持タナイ所ノ千代田縣知事ト云フモノガ出來ルカラソレハ宜シクナイト云フ結局議論デアッタ思ヒマス、ソレニ附キマシテ提出者ノ御意見トシテ成ル程警察權ヲ持タナイ所ノ千代田縣知事ト云フモノガ出來ルケレドモ現今ノ東京ト雖モ矢張警察ヲ持ッテ居ラナイノデアアル、故ニ是等ニ附イテハ勅令ノ規定ニ依ッテ如何様ニデモ是ハ決シ得ラル、コトデアアルカラシテ、サウ云フ警察權ノコトニ附イテハ彼此言フニ及バヌデアラウ、又或ハ縣ニハ法律或ハ命令ノ規定ニ依ッテ縣ノミデ負擔ヲスル所ノ經濟ガアルガ……是ハ府縣總テ

サウナツテ居ル、併ナガラ是等モ勅令ノ規定ニ依ッテ特別ノ例ヲ設ケサヘスレバ是等ニ附イテモ十分イケルコトデアアル、故ニ決シテ今日此案ガ確定シテ實行ノ後ト雖モ經濟ニ於テハ少モ變ルコトハナイ、故ニ矢張此儘デ差支ナイト云フ考デアアルト云フコトデアリマシタ、所ガ委員會ニ於キマシテハ前ノ反對ノ理由ハ即チ少數デ成立チマセヌゴザイマシタ、唯今申上デマシタ理由ノ反對モ成立チマセヌデゴザイマシタ、ソレカラ逐條ノ審議ニ移リマシテ、即チ御手許ニゴザイマスヤウナ修正ニナリマシテゴザイマス、其修正ノ理由ヲ申上デマスデゴザイマス、此第十四條ノ四項ノ修正ヲ致シマシタノハ、是ハ過日本院ニ於キマシテ可決ニナリマシタ所ノ法案ガゴザイマスル、即チ其法案ノ如ク其主意ノ如ク之ヲ修正ヲシタノデゴザイマス、ソレカラ十五條ノ修正デゴザイマス、是ハ前ノ議事日程ニゴザイマシタ、即チ此町村會議員云々ト云フ法案デゴザイマス、即チ先刻可決ニナリマシタ其法案ノ主意ヲ此處ニ持ッテ參ッタノデゴザイマス、ソレカラ二十二條ノ修正デゴザイマス、是ハ例ヘバ「確定名簿ニ登錄セラレタル者」云々トアリマシタ、即チ此選舉人ノ少イ場合ニ、サウシテ被選人ノ多イ場合ニハ此原案ノ如ク致シマスレバ不都合ヲ生ジマスルカラシテ、ソレガタメニ選舉スベキ議員ノ定數ノ三倍デアッタナラバ、即チ其時ニ連記ヲ用井ル、少イ場合ニハ單記ヲ用井ルト云フコトニシタノデゴザイマス、ソレカラ二十三條デゴザイマス、是ハ唯「公權停止」云々ト云フダケデハ他ノ方ニモ斯ウ云フコトニナツテ居リマスルカラシテ、矢張他ノ法律ノ如ク「公權者」云々ト云フコトヲ入レタ方ガ宜イト云フコトデ斯ノ如クナリマシタ、二十五條ノ修正デゴザイマスガ、是ハ衆議院選舉法ニスウ云フ規定ガゴザイマスカラ其方ヲ採リマシテ斯ノ如ク修正ヲ致シタノデゴザイマス、ソレカラ七十一條ノ修正デゴザイマス、是ハ其原案ノ如クナツテ居リマスルト、即チ此都長官ガ總テ之ヲ任免スルコト云フコトニナツテハ甚ダ宜シクナイ、故ニ今日デモ隨分水道部長トカ、或ハ何トカ云フモノハ相當ナ給料ヲ取ッテ相當ナル地位ヲ保ッテ居ル者ガアル、故ニスウ云フコトハ總テ矢張勅令ヲ以テ規定シタ方ガ宜シイ、都長官ノ任免スルヨリモ重クシタ方ガ宜シイト云フ所カラ之ヲ勅令ト云フコトニ變ヘタノデゴザイマス、ソレカラ百四條、是ハ唯其都會ノ同意ヲ得テト云フヨリハ寧ろ本條ニ依リ難キ場合ニ於テハ命令ニ依ッテ斯ウ云フ入札ト云フコトニ附イテハシタ方ガ却テ都會ノ同意ト云フコトヨリモ廣クナツテ宜イト云フ理由デゴザイマス、ソレカラ百二十一條デゴザイマス、是ハ其他ニモ斯ウ云フ法案ガゴザイマス、然ルニ此案ノミニ斯ノ如ク書イテ置

キマシテモ不都合アルカラシテ他ノ法案ノ如ク修正シタガ宜シイト云フタ
メニ是ガ削除ニナッタノデゴザイマス、百二十七條ガ削除ニナッテ居リマスノ
ハ是ハ百三十四條ノ關係ヨリシマシテ是ガ削除ニナリマシタノデゴザイマ
ス、ツレカラ百三十條モ百三十四條ノ關係カラ削除ニナッタノデゴザイマス、
ツレカラ百二十三條モ矢張同様デゴザイマス、ツレカラ次ノ百三十四條デゴ
ザイマス、是ハ其「都ノ財務ニ付テハ」云々ト云フコトガゴザイマスガ、是モ矢
張豫算調製ノ式トカ總テツレ等ノコトハ勅令ヲ以テ定ムルト云フコトヨリ
ハ、細カイコトガ色ミアルカラ内務大臣ガ之ヲ定ムルコトニシタ方ガ宜シイ
ト云フコトデスウナッタノデゴザイマス、ツレカラ百四十五條、是ハ矢張百四
十七條ノ關係ヨリ削除ニナッタノデアリマス、即チ百四十七條ノ第一號ニ「都
條例」ト云フコトヲ入レマシタ、メニ前ノ條ヲ削除シタノデゴザイマス、其他
條數ニチヨイノ變リガゴザイマスガ、是ハ削除致シマシタ、メニ條數ニ斯
ウ云フ變リヲ生ジタノデゴザイマス、其他ニ御質問ガ多少ゴザイマシタケレ
ドモ、是ハ速記録デ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、一々申上ゲマスレバ隨分時
間ヲ要シマスデ、ドウカサウ願ヒタウゴザイマス、尙ホ御質問ガゴザイマスレ
バ本員ヨリ御答シ得ラレルダケノコトハ御答モ致シマスケレドモ、尙ホ本案
ニ附イテノ御質問ガゴザイマスレバ提出者ヨリモ御答ガアラウト思ヒマス、
速記録ガゴザイマスカラ極大體ノコトヲ申上ゲテ置キマス、ツレカラ千代田
縣設置ニ關スル法律案、此方ニ修正ヲ致シマシタ、是ハ其千代田縣ト云フモノ
ガ當然都長官ノ之ヲ兼務スベキモノデアアル、ツレニ對スル所ノ官吏ハ總テ都
長官及其他千代田縣ノ官吏ハ都ノ官吏ガ總テ之ヲ兼ネルト云フコトヲ明瞭ニ
スルガタメニスノ如ク修正ヲ致シタノデゴザイマス、其他組合法案ニ於キマ
シテハ何等ノ異議ナク可決致シマシテゴザイマス、大要右ノヤウナ次第デア
リマスカラ何卒御賛成アラントヲ願ヒマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 別ニ御發議ガゴザイマセネバ二讀會ニ移ルヤ否
ヤノ決ヲ採リマス、本案第二讀會ニ移シテ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○子爵堤功長君 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ……
〔賛成〕ト呼フ者アリ
○副議長(侯爵黑田長成君) 直ニ第二讀會ヲ開イテ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕賛成〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 第二讀會ヲ開キマス、本案第一章及第二章ヲ問
題ニ供シマス、朗讀ハ省キマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 御異議ガゴザイマセネバ委員ノ報告通ニ決シマ
ス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 第三章及第四章ヲ問題ニ供シマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 是モ委員會ノ報告ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 第五章ヨリ第八章マデ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 委員會ノ報告ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 目錄ノ東京都制第一章ヨリ第八章マデ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 御異議ガゴザイマセネバ原案ニ決シマス、第二
讀會ハ是デ了リマシタ
〔賛成〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 第三讀會ニ移リマス、原案ニ御異議ハゴザイマ
セヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 千代田縣設置ニ關スル法律案、第一讀會ノ續
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黑田長成君) 本案第二讀會ニ移シテ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○子爵堤功長君 同案モ直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 直ニ第二讀會ヲ開イテ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 第二讀會ニ移リマス、是ハ簡單デゴザイマスカ
ラ全部ヲ問題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 委員ノ報告ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 二讀會ハ了リマシタ

○谷森眞男君 直ニ三讀會ヲ開カレンコトヲ……

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 直ニ三讀會ヲ開イテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 三讀會ニ移リマス、原案ニ御異議ハゴザイマセ
ヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 東京都千代田縣組合法案、第一讀會ノ續

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 第二讀會ニ移シテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○伯爵大原重朝君 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ……

○副議長(侯爵黒田長成君) 直ニ第二讀會ヲ開イテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 第二讀會ハ了リマシタ

○子爵堤功長君 三讀會モ直ニ……

○副議長(侯爵黒田長成君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異議ハゴザイマセヌ
カ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 第三讀會ニ移リマス、原案ニ御異議ハゴザイマ
セヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 先刻御委託ニナリマシタ特別委員氏名ヲ御報告
致シマス

〔太田書記官朗讀〕

軍人恩給法中改正法律案特別委員

子爵長岡 護美君 子爵高木 正善君 子爵板倉 勝達君

子爵久松 定弘君 男爵原田 一道君 男爵石黒 忠恵君

男爵平野 長祥君 石井 忠恭君 網野善右衛門君

臺灣ニ在勤スル巡査看守退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案特別委員

伯爵萬里小路通房君 子爵堤 功 長君 男爵岡内 重俊君

調所 廣丈君 男爵玉松 眞幸君 男爵高崎 安彦君

中島 永元君 瀧澤 喜平治君 坂口 平兵衛君

明治二十九年法律第六十三號中改正法律案特別委員

伯爵清棲 家教君 子爵曾我 祐準君 子爵堀田 正養君

男爵加藤 弘之君 男爵北垣 國道君 濱 尾 新君

男爵南岩倉 具威君 室田 義文君 伊澤 修二君

海軍造船材料資金會計法案特別委員

伯爵徳川 達孝君 子爵鍋島 直彬君 子爵内田 正學君

子爵久留島 通簡君 男爵伊藤 雋吉君 男爵有地 品之允君

男爵金子 有卿君 長谷川 貞雄君 下條 正雄君

組製樟腦、樟腦油專賣法案特別委員

伯爵吉井 幸藏君 子爵牧野 忠篤君 名村 泰藏君

男爵吉川 重吉君 男爵毛利 五郎君 石井省一郎君

西村 亮吉君 藤田 四郎君 松永 安彦君

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法中改正法律案、明治三十三年
法律第七十三號衆議院議員選舉法別表中改正法律案特別委員

伯爵廣澤 金次郎君 子爵松平 直平君 辻 新次君

男爵松平 正直君 男爵小澤 武雄君 男爵船越 衛君

男爵紀 俊秀君 小幡篤次郎君 天春 文衛君

海底電信線保護萬國聯合條約罰則法律案特別委員

伯爵島津 忠亮君 子爵大宮 以季君 子爵內藤 政共君

男爵神山 郡廉君 三浦 安君 村田 保君

男爵新田 忠純君 古市 公威君 高橋 喜惣治君

明治三十三年度豫備金支出ノ件外四件承諾ヲ求ムル件特別委員

侯爵松平 康莊君 伯爵松浦 詮君 伯爵日野 資秀君

子爵山本 實康君 子爵京極 高厚君 宮本 小一君

男爵西五辻 文仲君 松本 鼎君 三木 與吉郎君

地租ヲ課セサル土地ニ關スル法律案特別委員

伯爵大原 重朝君 子爵山口 弘達君 辻 新次君

男爵本多 副元君 男爵島津 珍彦君 南郷 茂光君

森山 茂君 宮島 誠一郎君 飯尾 麒太郎君

會計法中改正法律案外一件特別委員

伯爵坊城 俊章君 子爵京極 高德君 子爵三島 彌太郎君

子爵青木 信光君 柴原 和君 男爵眞田 幸世君

男爵島津 長丸君 武井 守正君 佐藤 國彦君

國勢調査ニ關スル法律案特別委員

侯爵細川 護成君 子爵丹羽 長保君 平山 成信君

男爵安藤 直行君 男爵小早川 四郎君 久保田 讓君

富田 鐵之助君 馬屋原 彰君 櫻井三郎右衛門君

○副議長(侯爵黒田長成君) 會期切迫ノ際デアリマスカラ特別委員ニ御ナリ

ニナリマシタ諸君ハ成ルベク是ヨリ直チニ委員長ノ互選ニ御取掛ニナルコト

ヲ希望シマス、明日ノ日程ハ後ヨリ報告ヲ致シマス、本日ハ散會

午前十一時四十四分散會